

令和3年社会生活基本調査

－ 生活行動に関する結果 －

結果の概要（岩手県版）

令和5年1月

岩手県ふるさと振興部

目 次

調査の概要	1
利用上の主な用語	1
利用上の注意	1
結果の概要	
1 学習・自己啓発・訓練	2
2 ボランティア活動	4
3 スポーツ	6
4 趣味・娯楽	8
5 旅行・行楽	10
(資料) 令和3年社会生活基本調査結果(全国)	11

調査の概要

社会生活基本調査は、国民の生活時間の配分及び自由時間における主な活動について調査し、仕事や家庭生活に費やされる時間、地域活動等へのかかわりなどの実態を明らかにし、各種行政施策の基礎資料を得ることを目的とし、昭和51年の第1回調査以来5年ごとに実施している。

令和3年調査は、令和3年10月20日を調査日として、無作為に選定した約1,600世帯に住んでいる10歳以上の世帯員約3,600人を対象として実施した。(全国では、約9万1千世帯、約19万人)

この資料は、総務省が公表した過去1年間の生活行動に係る集計結果から、岩手県に関する部分を概要としてまとめたものである。

利用上の主な用語

- 行動者数……過去1年間(令和2年10月20日～令和3年10月19日)に該当する種類の活動を行った人(10歳以上)の数
- 行動者率……10歳以上人口に占める行動者数の割合(%)
- 平均行動日数……行動者について平均した過去1年間の行動日数

利用上の注意

- ポイント差は、表章数値から算出している。
- 本文中の各活動の種類名については、一部省略をしている。

結果の概要

1 学習・自己啓発・訓練

(1) 「学習・自己啓発・訓練」の行動者率は28.9%で、5年前より0.1ポイント低下

「学習・自己啓発・訓練」について、過去1年間（令和2年10月20日～令和3年10月19日。以下同じ。）に何らかの種類の活動を行った人（10歳以上）の数（以下「行動者数」という。）は31万1千人で、10歳以上人口に占める割合（以下「行動者率」という。）は28.9%となっている。男女別にみると、男性が14万2千人、女性が16万9千人となっており、行動者率は男性が27.2%、女性が30.4%で、女性が男性より3.2ポイント高くなっている。

行動者率は平成28年に比べ0.1ポイント低下している。これを男女別にみると、男性が0.5ポイント低下、女性が0.2ポイント上昇している。

行動者率を年齢階級別にみると、10～14歳が50.4%と最も高く、75歳以上が18.3%と最も低くなっている。（図1-1）

男女別にみると、75歳以上を除く全ての年齢階級で女性の方が高くなっている。（図1-2）

図1-1 「学習・自己啓発・訓練」の年齢階級別行動者率（平成28年、令和3年）

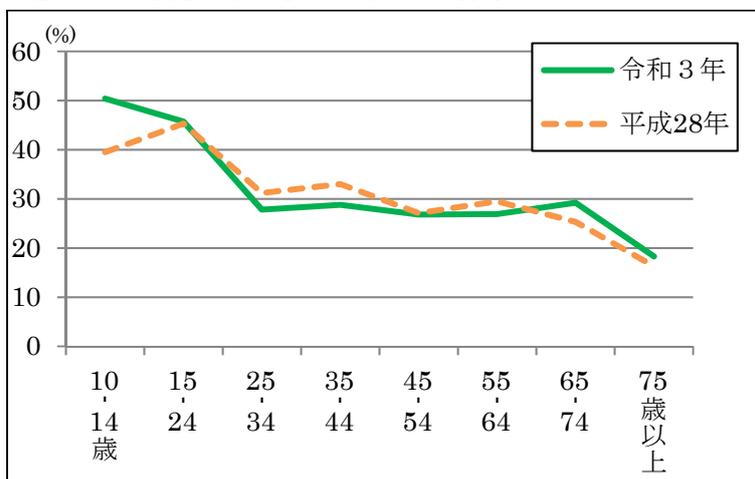
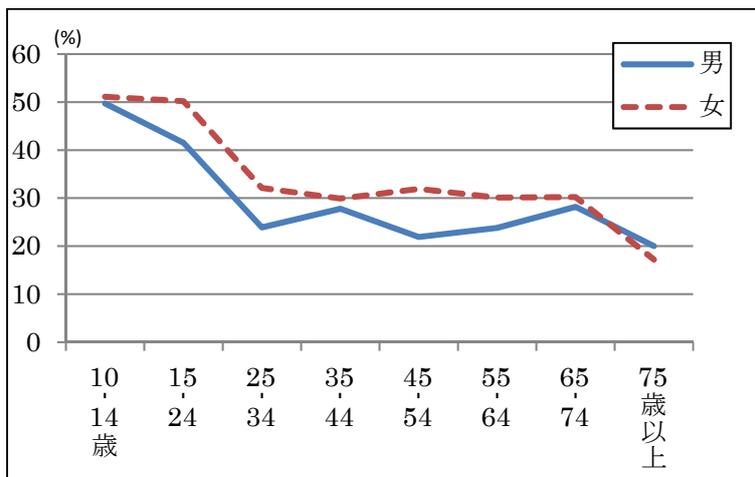


図1-2 「学習・自己啓発・訓練」の男女、年齢階級別行動者率（令和3年）



注)「学習・自己啓発・訓練」は、社会人の職場研修や、児童・生徒・学生が学業（授業、予習、復習）として行うものは除き、クラブ活動や部活動は含む。

(2) 男性は「パソコンなどの情報処理」の行動者率が最も高く、女性は「家政・家事」の行動者率が最も高い

「学習・自己啓発・訓練」の種類別行動者率をみると、「家政・家事」が10.5%と最も高く、次いで「パソコンなどの情報処理」が10.3%、「芸術・文化」が7.6%などとなっている。(図1-3)

男女別にみると、男性は「パソコンなどの情報処理」が12.3%と最も高く、次いで「人文・社会・自然科学」が7.5%、「英語」が7.1%などとなっている。女性は「家政・家事」が14.0%と最も高く、次いで「芸術・文化」が8.7%、「パソコンなどの情報処理」が8.3%などとなっている。(図1-4)

図1-3 「学習・自己啓発・訓練」の種類別行動者率（平成28年、令和3年）

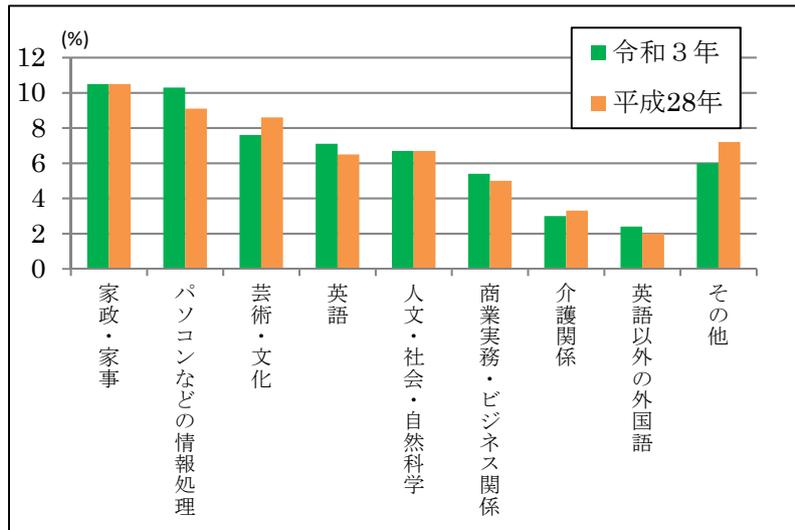
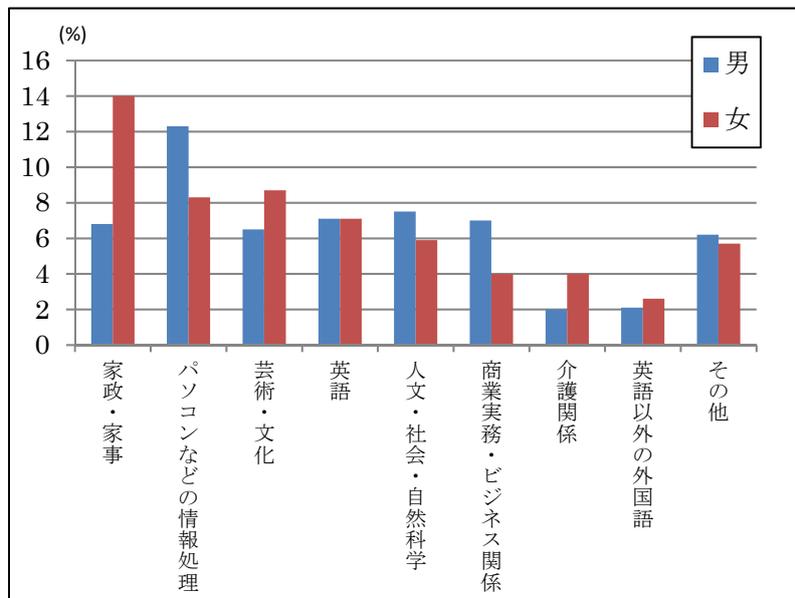


図1-4 「学習・自己啓発・訓練」の男女、種類別行動者率（令和3年）



2 ボランティア活動

(1) ボランティア活動の行動者率は24.4%で、5年前より5.8ポイント低下

「ボランティア活動」の行動者数は26万3千人で、行動者率は24.4%となっている。男女別にみると、男性が12万6千人、女性が13万7千人となっており、行動者率は男性が24.2%、女性が24.7%で、女性が男性より0.5ポイント高くなっている。

行動者率は平成28年に比べ5.8ポイント低下している。これを男女別にみると、男性が5.1ポイント低下、女性が6.3ポイント低下している。

行動者率を年齢階級別にみると、65～74歳が33.3%と最も高く、25～34歳が12.4%と最も低くなっている。平成28年と比べると、全ての階級で低下している。(図2-1)

また、男女別にみると、25～34歳、55～64歳、65歳～74歳及び75歳以上の階級で男性の方が高くなっている。(図2-2)

図2-1 「ボランティア活動」の年齢階級別行動者率（平成28年、令和3年）

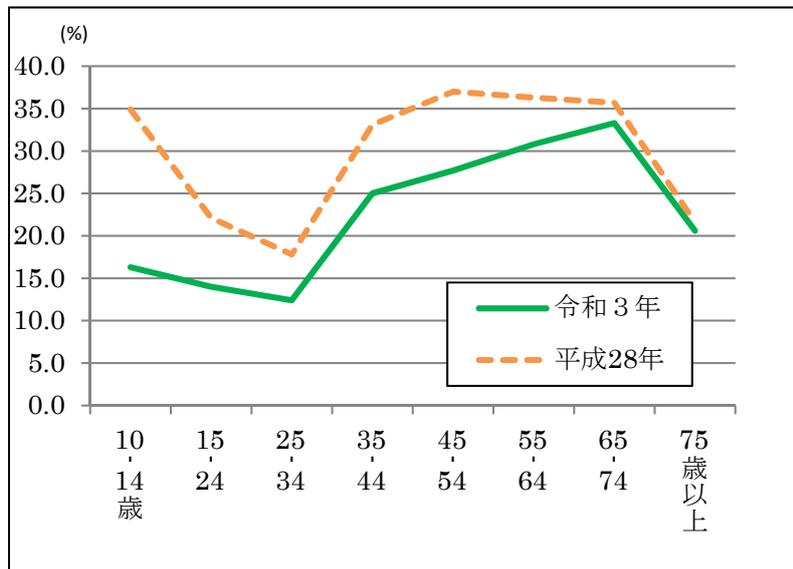
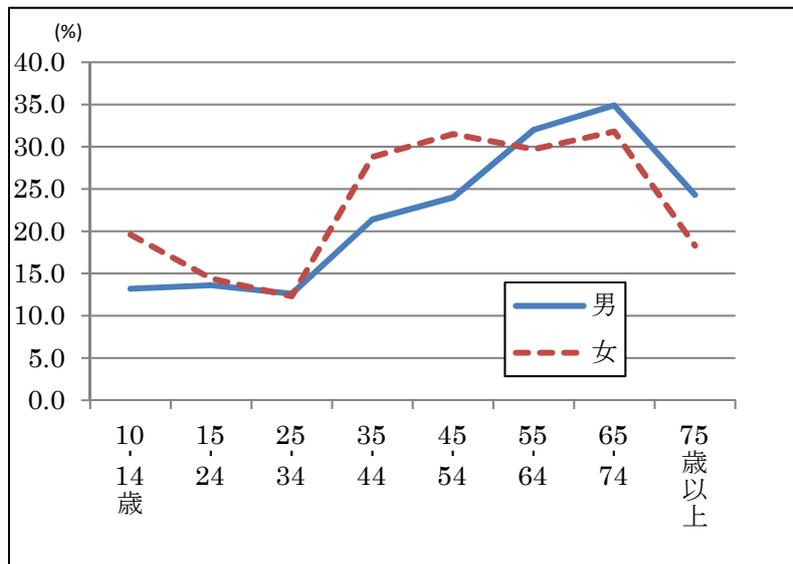


図2-2 「ボランティア活動」の男女、年齢階級別行動者率（令和3年）



(2) 行動者率は「まちづくりのための活動」が最も高い

「ボランティア活動」の種類別に行動者率をみると、「まちづくりのための活動」が13.7%と最も高く、次いで「子供を対象とした活動」が5.4%、「安全な生活のための活動」が4.6%などとなっている。(図2-3)

男女別にみると、男性は「まちづくりのための活動」が14.6%と最も高く、次いで「自然や環境を守るための活動」が5.2%、「安全な生活のための活動」が4.9%などとなっている。女性は「まちづくりのための活動」が12.8%と最も高く、次いで「子供を対象とした活動」が6.2%、「安全な生活のための活動」が4.3%などとなっている。(図2-4)

図2-3 「ボランティア活動」の種類別行動者率（平成28年、令和3年）

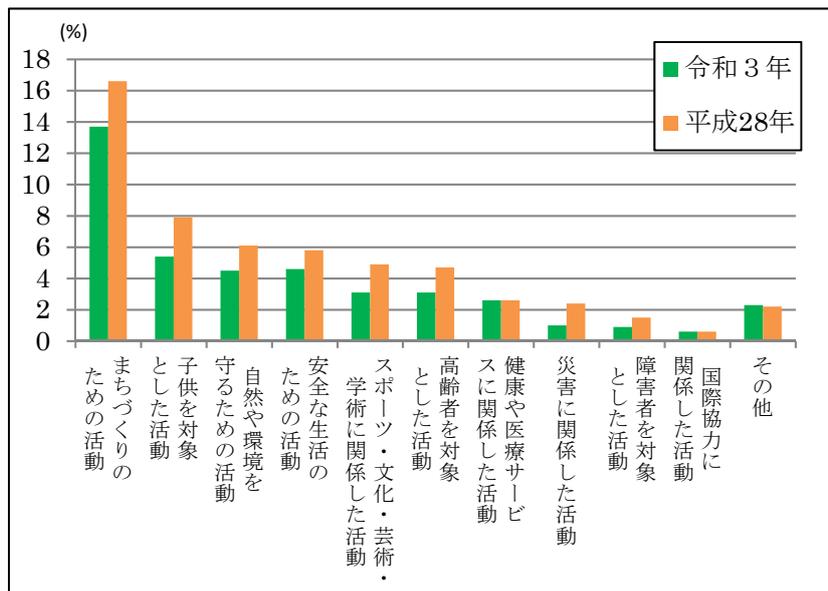
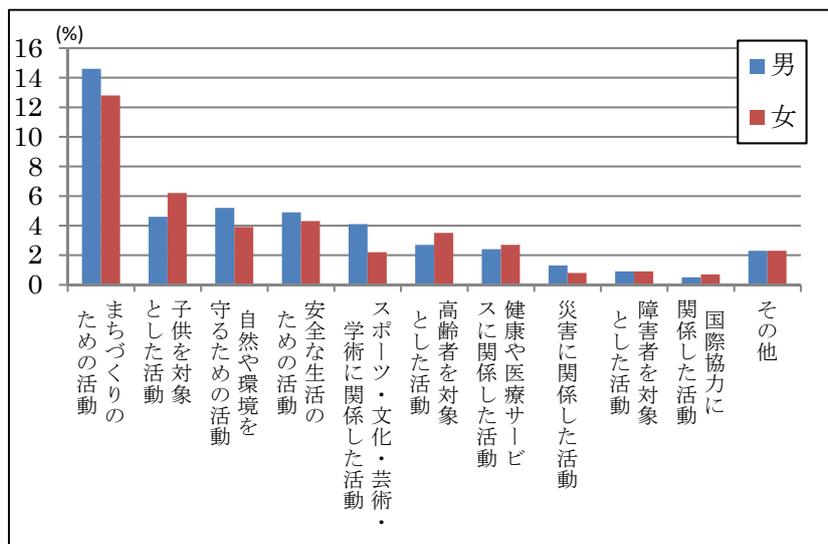


図2-4 「ボランティア活動」の男女、種類別行動者率（令和3年）



3 スポーツ

(1) 「スポーツ」の行動者率は59.1%で、5年前より1.5ポイント低下

「スポーツ」の行動者数は63万5千人で、行動者率は59.1%となっている。男女別にみると、男性が32万9千人、女性が30万6千人となっており、行動者率は男性が63.3%、女性が55.2%で男性が女性より8.1ポイント高くなっている。

行動者率は平成28年に比べ1.5ポイント低下している。これを男女別にみると、男性が1.8ポイント低下、女性が1.2ポイント低下している。

行動者率を年齢階級別にみると、10～14歳が87.9%と最も高く、年齢が高くなるにつれておおむね低下している。(図3-1)

男女別にみると、45歳～54歳の階級を除く全ての年齢階級で男性の方が高くなっている。(図3-2)

図3-1 「スポーツ」の年齢階級別行動者率（平成28年、令和3年）

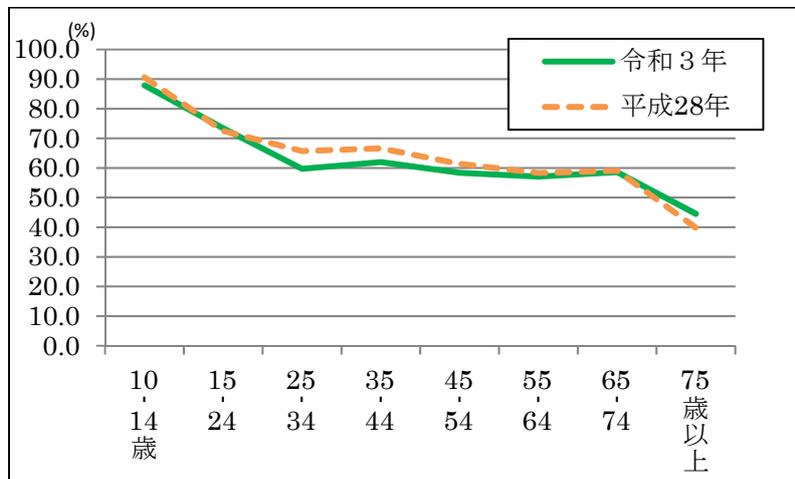
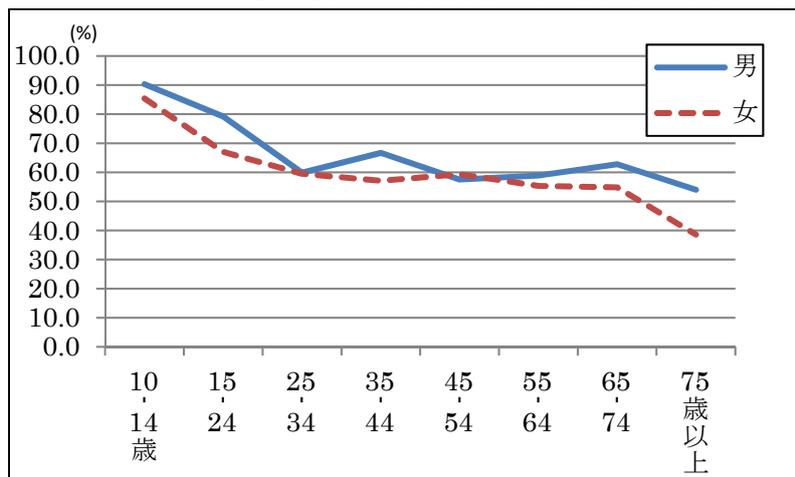


図3-2 「スポーツ」の男女、年齢階級別行動者率（令和3年）



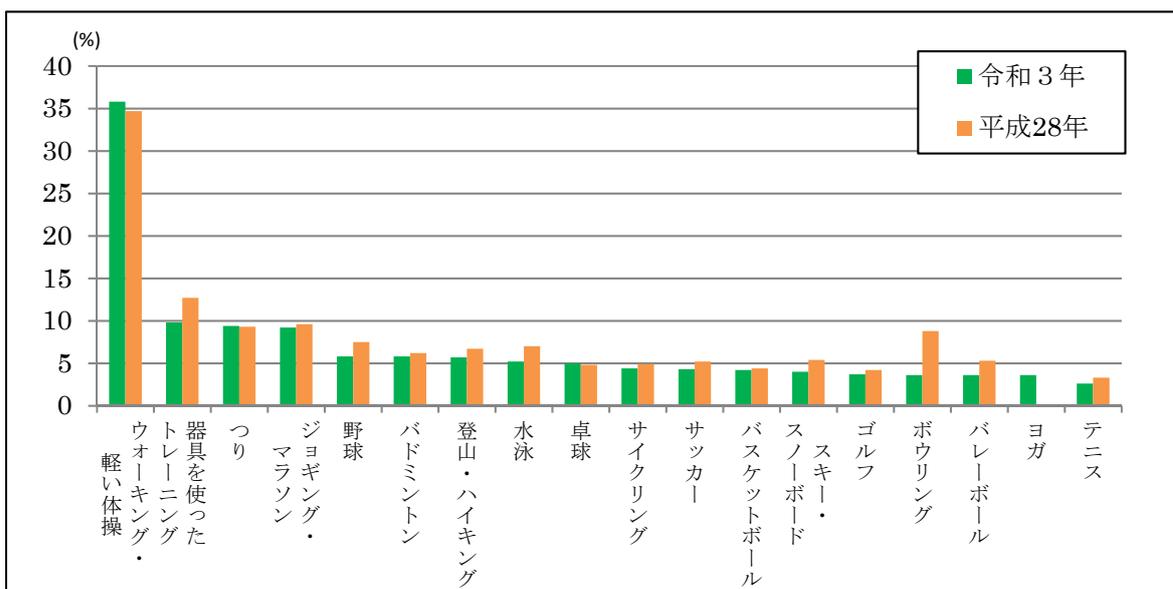
注) 「スポーツ」には、職業スポーツ選手が仕事として行うものや、児童・生徒・学生が体育の授業で行うものは除き、クラブ活動や部活動は含む。

(2) 行動者率は「ウォーキング・軽い体操」が最も高い

「スポーツ」の種類別に行動者率をみると、「ウォーキング・軽い体操」が35.8%と最も高く、次いで「器具を使ったトレーニング」が9.8%、「釣り」が9.4%などとなっている。(図3-3)

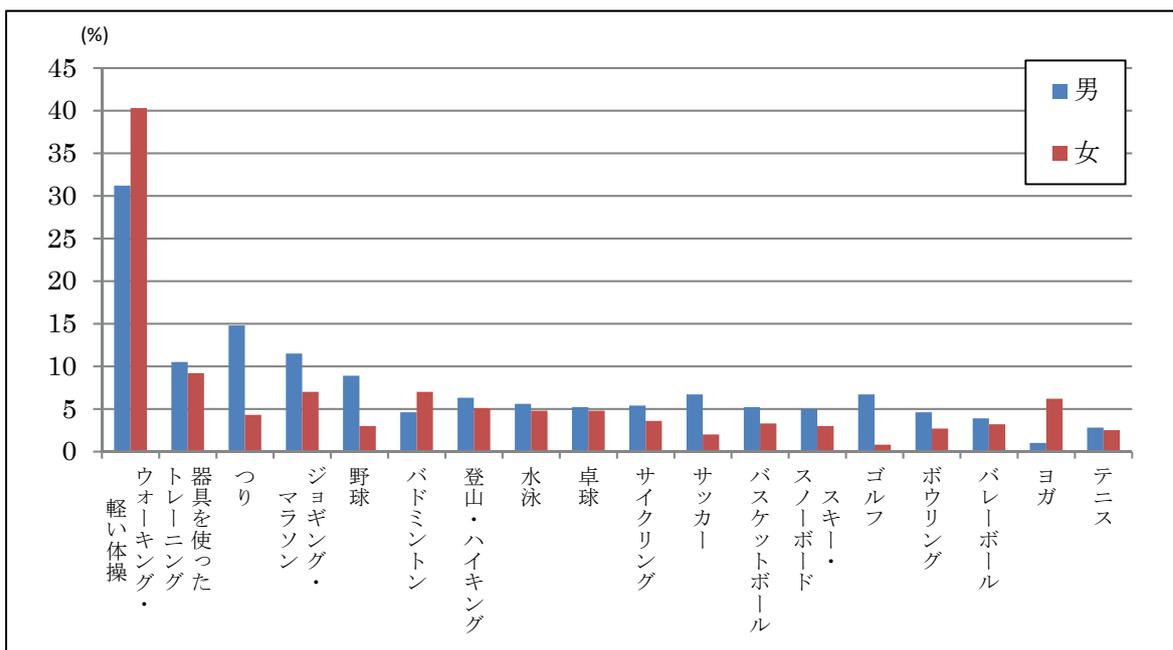
男女別にみると、男性は「ウォーキング・軽い体操」が31.2%と最も高く、次いで「釣り」が14.8%、「ジョギング・マラソン」が11.5%などとなっている。女性は「ウォーキング・軽い体操」が40.3%と最も高く、次いで「器具を使ったトレーニング」が9.2%などとなっている。多くのスポーツで男性が女性を上回っているが、「ウォーキング・軽い体操」、「バトミントン」及び「ヨガ」については、女性の行動者率が男性の行動者率よりも高くなっている。(図3-4)

図3-3 「スポーツ」の種類別行動者率（平成28年、令和3年）



注) 行動者率が3%以上の種類を表章、H28はヨガの公表なし

図3-4 「スポーツ」の男女、種類別行動者率（令和3年）



4 趣味・娯楽

(1) 「趣味・娯楽」の行動者率は82.9%で、5年前より1.1ポイント低下。

「趣味・娯楽」の行動者数は89万1千人で、行動者率は82.9%となっている。男女別にみると、男性が43万人、女性が46万人となっており、行動者率は男性が82.7%、女性が83.0%で、女性が男性より0.3ポイント高くなっている。

行動者率は平成28年に比べ1.1ポイント低下している。これを男女別にみると、男性が2.2ポイント低下、女性が0.2ポイント低下している。

行動者率を年齢階級別にみると、10～14歳が93.5%と最も高く、年齢が高くなるにつれておおむね低下している。(図4-1)

男女別にみると、25～34歳、45歳～54歳及び65歳～74歳の階級を除く全ての年齢階級で女性が男性より高くなっている。(図4-2)

図4-1 「趣味・娯楽」の年齢階級別行動者率（平成28年、令和3年）

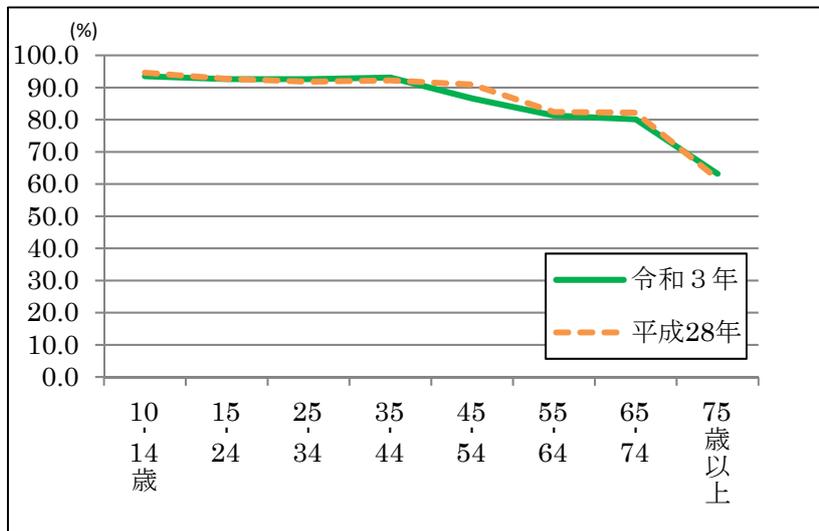
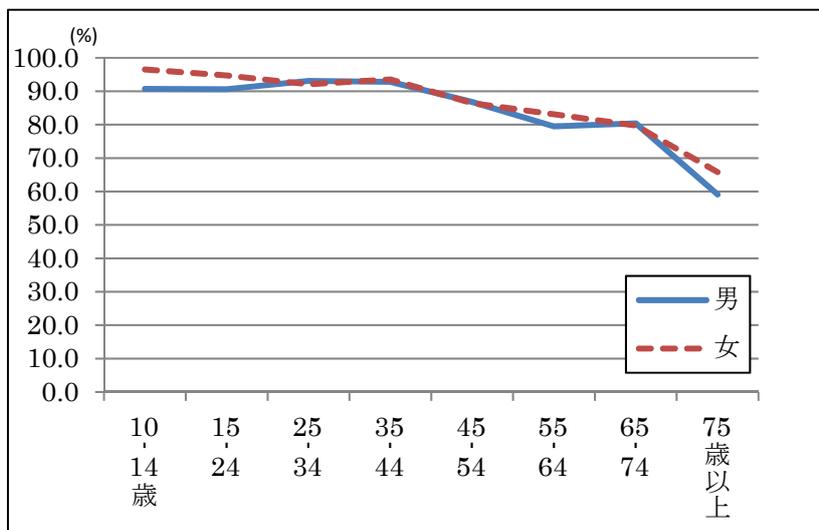


図4-2 「趣味・娯楽」の男女、年齢階級別行動者率（令和3年）

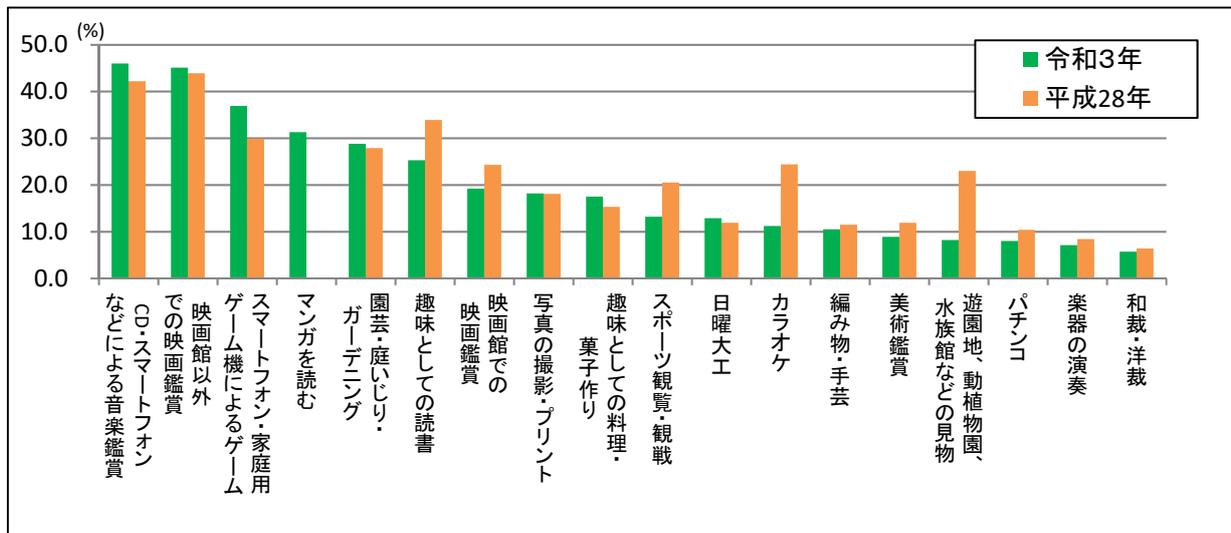


(2) 行動者率は「CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞」が最も高い

「趣味・娯楽」の種類別行動者率をみると、「CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞」が46.0%と最も高く、次いで「映画館以外での映画鑑賞」が45.1%、「スマートフォン・家庭用ゲーム機によるゲーム」が36.9%などとなっている。(図4-3)

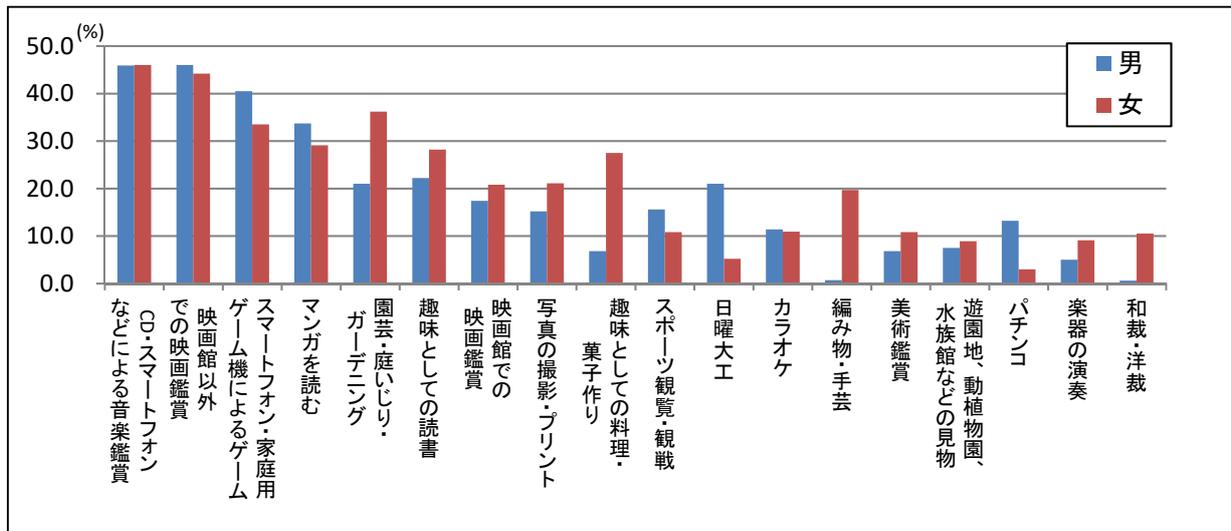
男女別にみると、男性は「映画館以外での映画鑑賞」が46.0%と最も高く、次いで「CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞」が45.9%、「スマートフォン・家庭用ゲーム機によるゲーム」が40.5%などとなっている。女性は「CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞」が46.0%と最も高く、「映画館以外での映画鑑賞」が44.2%、「園芸・庭いじり・ガーデニング」が36.2%などとなっている。(図4-4)

図4-3 「趣味・娯楽」の種類別行動者率（平成28年、令和3年）



注) 行動者率が5%以上の種類を表章

図4-4 「趣味・娯楽」の男女、種類別行動者率（令和3年）



注) 男女総数の行動者率が5%以上の種類を表章

5 旅行・行楽

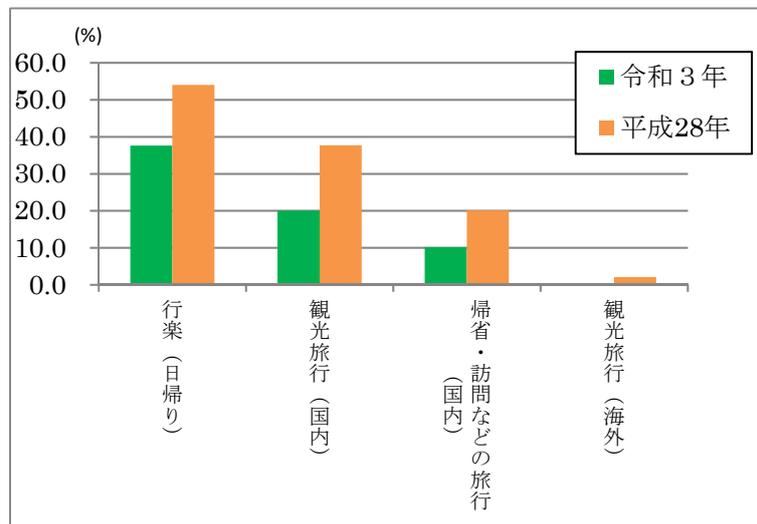
(1) 「旅行・行楽」の行動者率は45.3%で、5年前より20.4ポイント低下

「旅行・行楽」の行動者数は48万7千人で、行動者率は45.3%となっている。男女別にみると、男性が22万3千人、女性が26万5千人となっており、行動者率は男性が42.8%、女性が47.7%で、女性が男性より4.9ポイント高くなっている。

行動率は平成28年に比べ20.4ポイントの大幅な低下となっている。これを男女別にみると、男性は19.8ポイント、女性は20.9ポイントをいずれも大幅な低下となっている。

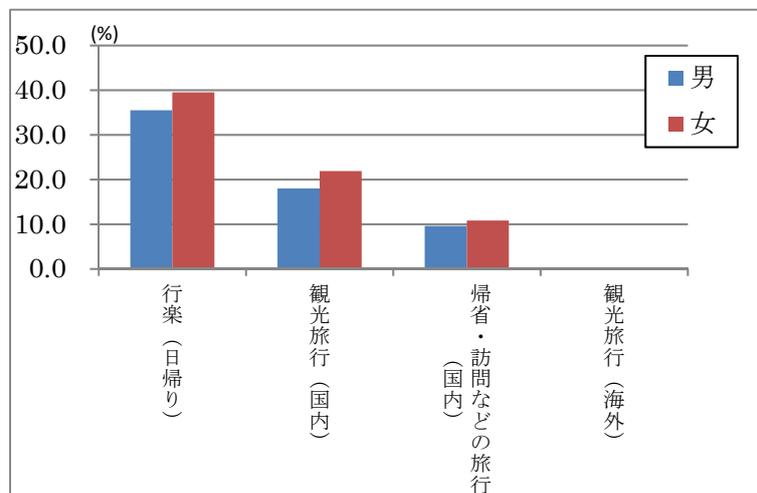
「旅行・行楽」の種類別に行動者率をみると、「行楽（日帰り）」が37.6%、観光旅行では国内が20.0%、海外が0.2%などとなっている。これを平成28年と比べると、全ての分野で低下しており「行楽（日帰り）」が16.4ポイント「観光旅行（国内）」が17.7ポイント、「帰省・訪問などの旅行（国内）」が9.9ポイント、「観光旅行（海外）」が1.9ポイントの低下となっている。（図5-1）男女別にみると、「観光旅行（海外）」以外の全ての種類で女性の方が高くなっている。（図5-2）

図5-1 「旅行・行楽」の種類別行動者率（平成28年、令和3年）



※R3観光旅行（海外）0.2%

図5-2 「旅行・行楽」の種類、男女別行動者率（令和3年）



※R3 観光旅行（海外）男0.2%、女0.1%

(資料) 令和3年社会生活基本調査結果 (全国)

(単位：%)

学習・自己啓発・訓練			ボランティア活動			スポーツ			趣味・娯楽			旅行・行楽		
順位	都道府県	行動者率	順位	都道府県	行動者率	順位	都道府県	行動者率	順位	都道府県	行動者率	順位	都道府県	行動者率
1	東京都	52.8	1	島根県	25.6	1	東京都	74.5	1	東京都	91.4	1	愛知県	57.6
2	神奈川県	46.7	2	佐賀県	24.8	2	神奈川県	71.8	2	愛知県	89.3	2	東京都	55.5
3	京都府	43.5	3	岩手県	24.4	3	埼玉県	69.3	3	神奈川県	89.2	3	神奈川県	54.5
4	千葉県	42.0	4	滋賀県	24.2	4	愛知県	68.8	4	埼玉県	88.4	4	京都府	54.2
5	大阪府	41.3	5	鳥取県	24.1	5	千葉県	67.4	5	宮城県	87.0	5	福岡県	52.3
6	埼玉県	40.0	5	山形県	23.6	6	滋賀県	67.2	5	千葉県	87.0	6	宮城県	52.2
7	奈良県	39.8	7	岡山県	23.2	7	群馬県	67.0	7	大阪府	86.7	6	滋賀県	52.2
8	滋賀県	39.7	8	鹿児島県	22.3	8	京都府	67.0	8	滋賀県	86.4	8	大阪府	51.9
	全国	39.6	9	熊本県	22.1	8	福岡県	67.0		全国	86.3	9	兵庫県	51.6
9	兵庫県	39.5	10	長野県	22.0	10	熊本県	66.6	9	石川県	86.2	10	埼玉県	51.5
10	愛知県	39.0	11	福井県	21.7		全国	66.5	9	奈良県	86.2	11	北海道	51.0
11	広島県	38.4	12	岐阜県	21.7	11	兵庫県	66.4	11	福岡県	85.8	12	群馬県	50.8
12	福岡県	37.7	13	山梨県	21.1	12	静岡県	66.3	12	京都府	85.6	13	熊本県	50.5
13	宮城県	37.5	14	長崎県	21.0	13	大阪府	66.1	13	北海道	85.4	14	奈良県	50.4
14	佐賀県	37.2	15	秋田県	20.9	13	茨城県	65.8	13	兵庫県	85.4		全国	49.5
15	岡山県	37.1	16	宮城県	20.7	13	宮崎県	65.8	15	茨城県	85.3	15	岐阜県	48.6
16	長野県	36.6	16	石川県	20.7	13	沖縄県	65.8	16	群馬県	85.2	16	千葉県	47.9
16	沖縄県	36.6	18	大分県	20.3	16	広島県	65.3	16	福井県	85.2	17	新潟県	47.6
18	茨城県	36.5	19	山口県	20.1	17	奈良県	64.8	18	静岡県	85.1	18	佐賀県	47.5
18	山梨県	36.5	19	宮崎県	20.1	18	岡山県	64.8	18	広島県	85.1	19	栃木県	47.3
20	静岡県	36.5	21	福島県	19.7	20	宮城県	64.4	20	岡山県	85.0	20	広島県	47.1
21	岐阜県	36.1	22	愛媛県	19.6	21	三重県	64.3	21	岐阜県	84.9	21	三重県	47.0
21	福井県	35.8	23	富山県	19.5	22	岐阜県	64.1	22	長野県	84.8	22	長野県	46.9
23	熊本県	35.7	24	新潟県	19.3	23	長野県	64.0	23	愛媛県	84.3	23	山梨県	46.7
24	石川県	35.6	24	三重県	19.3	23	愛媛県	64.0	24	三重県	84.2	24	岩手県	45.3
25	群馬県	35.2	26	群馬県	19.2	25	鹿児島県	63.5	25	熊本県	84.1	25	茨城県	45.0
25	鹿児島県	35.2	27	福岡県	19.1	26	石川県	63.4	26	新潟県	84.0	25	大分県	45.0
27	北海道	35.0	28	静岡県	18.9	27	山口県	63.2	27	栃木県	83.9	27	秋田県	44.8
28	山口県	34.8	28	高知県	18.9	28	大分県	63.1	27	山口県	83.9	28	石川県	44.7
29	新潟県	34.5	30	広島県	18.6	29	佐賀県	62.8	29	和歌山県	83.3	29	福島県	44.4
30	愛媛県	34.5	31	奈良県	18.5	30	栃木県	62.6	30	山梨県	83.1	30	山形県	44.3
31	三重県	34.4	31	和歌山県	18.2	31	北海道	62.2	31	岩手県	82.9	30	福井県	44.3
32	鳥取県	34.1	32	香川県	18.1	31	山梨県	62.2	31	香川県	82.9	32	和歌山県	44.1
32	徳島県	34.1		全国	17.8	33	香川県	61.8	33	富山県	82.6	33	山口県	43.5
32	香川県	34.1	34	兵庫県	17.7	34	福井県	61.5	34	島根県	82.5	34	鹿児島県	43.3
35	富山県	33.4	35	徳島県	17.4	35	島根県	61.4	35	山形県	82.4	35	岡山県	43.0
36	島根県	33.3	35	沖縄県	17.4	36	鳥取県	61.2	36	大分県	82.3	36	宮崎県	42.8
37	大分県	33.2	37	茨城県	17.1	37	徳島県	60.9	37	秋田県	82.1	37	静岡県	41.3
38	栃木県	32.8	38	神奈川県	17.0	38	和歌山県	59.8	37	佐賀県	82.1	38	富山県	41.1
39	福島県	31.5	39	愛知県	16.6	39	富山県	59.7	39	鳥取県	81.7	39	島根県	39.8
40	和歌山県	31.3	39	京都府	16.6	40	福島県	59.5	39	高知県	81.7	40	高知県	39.2
40	宮崎県	31.3	41	栃木県	16.5	41	高知県	59.4	41	宮崎県	81.6	41	香川県	39.0
42	長崎県	31.2	42	北海道	16.3	42	岩手県	59.1	42	福島県	81.5	42	鳥取県	38.4
43	山形県	31.1	43	埼玉県	15.6	43	新潟県	59.0	43	鹿児島県	81.0	43	愛媛県	37.4
44	高知県	30.3	44	東京都	15.5	44	山形県	58.4	44	徳島県	80.6	44	青森県	36.6
45	秋田県	29.2	45	千葉県	14.9	45	長崎県	57.8	45	沖縄県	80.0	45	長崎県	36.1
46	岩手県	28.9	46	大阪府	14.5	46	秋田県	57.1	46	長崎県	79.7	46	徳島県	32.2
47	青森県	25.4	47	青森県	14.0	47	青森県	52.1	47	青森県	78.6	47	沖縄県	31.1

問い合わせ先]
 岩手県ふるさと振興部調査統計課 生活統計担当
 〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10番1号
 TEL 019-629-5302 FAX 019-629-5309